公立学校施設の耐震改修状況調査（令和5年（2023年）4月1日現在）の結果概要

1　調査の目的

文部科学省が公立学校施設の安全性の確保に向けて早期に耐震化を推進するために、平成14年度（2002年度）から毎年度実施し公表

2　校舎等の耐震化（非木造）の状況

区分		耐震化率	
		R4.4.1現在	R5.4.1現在
小・中学校	北海道	98.7%　（61棟）	99.1%　（42棟）
	全　国	99.7%	99.8%
高等学校	北海道	98.3%　（ 9棟）	98.3%　（ 9棟）
	全　国	99.4%	99.6%
特別支援学校	北海道	100%　（ 0棟）	100%　（ 0棟）
	全　国	99.9%	99.9%
幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）	北海道	89.8%　（ 5棟）	91.7%　（ 4棟）
	全　国	97.7%	98.3%

※（　）内は耐震化未了の残棟数。

3　屋内運動場等における吊り天井等の落下防止対策の状況

区分		屋内運動場等における吊り天井・照明器具・バスケットゴールの落下防止対策			
		吊り天井を有する棟		吊り天井を有していない棟	
		対策実施率		対策実施率	
		R4.4.1現在	R5.4.1現在	R4.4.1現在	R5.4.1現在
小・中学校	北海道	82.8%	81.4%	73.3%	75.1%
	全　国	91.1%	92.5%	81.4%	82.3%
高等学校	北海道	92.3%	80.0%	97.8%	97.9%
	全　国	77.2%	87.7%	92.2%	92.3%
特別支援学校	北海道	100%	－	100%	100%
	全　国	97.1%	97.0%	92.7%	92.8%
幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）	北海道	－	－	100%	100%
	全　国	100%	100%	79.8%	79.4%

※調査対象は、屋内運動場・武道場・講堂・屋内プールのうち、高さ6メートルを超える天井又は水平投影面積が200平方メートルを超える天井を有する建物

４ 屋内運動場等の吊り天井等以外の非構造部材の耐震点検・耐震対策の状況

区　　分		屋内運動場等の吊り天井等以外の非構造部材(※1)の耐震点検・耐震対策			
		耐震点検実施率(※2)		耐震対策実施率(※3)	
		R4.4.1現在	R5.4.1現在	R4.4.1現在	R5.4.1現在
小・中 学 校	北海道	100%	100%	92.2%	92.3%
	全　国	96.1%	97.3%	66.1%	67.3%
高 等 学 校	北海道	100%	100%	99.6%	99.5%
	全　国	99.9%	99.9%	54.7%	59.2%
特別支援学校	北海道	100%	100%	100%	100%
	全　国	99.7%	100%	66.5%	68.8%
幼 稚 園（幼保連携型認定こども園を含む）	北海道	98.3%	98.3%	93.1%	94.8%
	全　国	93.1%	94.3%	69.5%	73.6%

※1　吊り天井等以外の非構造部材：窓ガラス、ドア、外壁、内壁、放送機器など

※2　全学校数に占める、「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック（平成27年３月改訂版及び平成31年３月追補版（ただし、ブロック塀の項目を除く））」に基づき、学校教職員等又は学校設置者（専門家）による点検を実施した学校数の割合

※3　全学校数に占める、耐震点検実施校数のうち学校設置者（専門家）による耐震点検の結果、耐震対策が不要又は耐震対策が完了した学校数の割合

５ 校舎等の耐震化が遅れている主な理由

- 児童生徒数の減少に伴う学校の統廃合に関する住民合意に時間を要する。
- 耐震化を要する学校数が多く、事業の平準化を図る必要がある。
- 他の事業（公共施設整備）を優先的に進めざるを得ない。
- 工事着手済みだが、調査時点で工事が未完了。